

Title	Gallia 60号 会員研究活動報告
Author(s)	
Citation	Gallia. 60 p.121-p.130
Issue Date	2021-03-06
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/79405">https://hdl.handle.net/11094/79405</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# 会員研究活動報告

(2020年1月1日～12月31日)

アヴォカ・エリック

論文

- ・ Poésie tragique / Langue révolutionnaire. La logomachie dans le théâtre des *Actes des Apôtres* (『Correspondances コレスボンダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 103-115, 2月)
- ・ Parole représentée, parole des représentants. L'institution parlementaire, objet de spectacle ? (Actes du colloque *Révolution française et spectacles*, organisé par la Faculté des lettres de l'Université Meiji, p. 51-64)

青木 佑介

論文

- ・ マルグリット・デュラスの作品における写真—肖像写真と人物像の表象について— (『関西フランス語フランス文学』第26号, p. 75-86, 3月)
- ・ マルグリット・デュラスの写真の見方—エドゥアール・ブーバとジャニヌ・ニエプスの写真評を中心に— (『西洋文学研究』第40号, 大谷大学西洋文学研究会, p. 1-23, 11月)

口頭発表

- ・ マルグリット・デュラスの写真の見方—エドゥアール・ブーバとジャニヌ・ニエプスの写真評を中心に— (大谷大学西洋文学研究会, オンライン, 9月26日)
- ・ マルグリット・デュラスの写真の見方—ラルフ・ギブソンの写真評と『書かれた海』の分析を通じて— (日本フランス語フランス文学会関西支部大会, オンライン, 11月28日)

足立 和彦

論文

- ・ モーパッサンの修業時代:フロベールの弟子として (『Correspondances コレスボンダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 343-356, 2月)

安達 孝信

論文

- ・ ギョラにおける郊外行楽の物語的役割—フォントネーからバンスクールヘ— (『Correspondances コレスボンダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 285-298, 2月)
- ・ ギョラ『テレーズ・ラカン』における環境・気質理論の実践 (『関西フランス語フランス文学』第26号, p. 39-50, 3月)

口頭発表

- ・ ギョントール兄弟『ジェルミニ・ラセルトゥー』における場末と郊外 (日本フランス語フランス文学会関西支部大会, オンライン, 11月28日)

阿南 婦美代

- 共著
- ・『改訂版 パシヨネマン 2』(第三書房)
  - ・『四訂版 パシヨネマン 1』(第三書房)

安藤 麻貴

- 博士論文
- ・カミュ晩年における文学創造の軌跡—追放から再生へ—(大阪大学大学院文学研究科, 2019 年度)
- 口頭発表
- ・アトリエ『『ブチ・ニコラ』II 原文で読む利点と楽しみ』(野呂康氏との共同発表, 日本フランス語フランス文学会中国・四国支部大会, オンライン, 12 月 5 日)

井上 直子

- 論文
- ・対峙し続けること—カミュの不条理とヴァレリーの反理性的側面—(『Correspondances コレスポンダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 491-503, 2 月)
  - ・メルロ＝ポンティのプルースト読解—「感情の制度化」とアルベルチヌー—(Gallia, n° 59, p. 79-88, 3 月)
  - ・Du dégagement à l'engagement — l'étranger et le « chiasma » (『仏語仏文学研究』, 第 54 号, 東京大学仏語仏文学研究会, p. 203-224, 12 月)
- 書評
- ・『愛のディスクルーヴァレリー「恋愛書簡」の詩学—』(『読書人』森本淳生・鳥山定嗣編, 水声社, 8 月 28 日)
- 口頭発表
- ・フランスの留学生がセンター試験を解いたら? —日仏の『読解』教育の違い(大阪教育大学グローバルセンターシンポジウム「フランスの論述教育を日本の教育に取り入れるには—論述とテキスト読解—」, 11 月 11 日)
- 公開講座
- ・フランス文学—光と影—(シニア CITY カレッジ, 2020 年 10 月 -2021 年 3 月)

岩根 久

- 口頭発表
- ・効果的な苦情対応のための ESP 教材開発—アンケートとロールプレイの調査結果から(岩井千春氏と共同発表, 第 3 回 JAAL in JACET (日本応用言語学会) 学術交流集会, オンライン, 12 月 5 日)
- エッセイ
- ・巻頭言: センター設立 20 周年にあたって (『大阪大学サイバーメディア・フォーラム』n° 21, 大阪大学サイバーメディアセンター, p. 1-2, 11 月)

植村 実江

- 論文
- ・スタール夫人とシャトープリアン: 『文学論』をめぐって (Gallia, n° 59, p. 49-58, 3 月)

## 太田 晋介

## 論文

- ・ フランシス・ポンジュはフォルマリストか？：ポンジュ『マレルブのために』における〈現代性〉という問題系（『Correspondances コレスポンダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 533-546, 2月）
- ・ 負の文学から正のポエジーへの回帰：ポンジュ『マレルブのために』における〈現代性〉という問題系（『関西フランス語フランス文学』第26号, p. 51-62, 3月）

## 柏木 加代子

## エッセイ

- ・ 芸術家の「赤いリボン」（『ゆうばえ』第9号, 鳴滝書房, p. 66-68, 1月25日）
- ・ パリの美術館のとマリ＝カトリーヌさん（『ゆうばえ』第10号, 鳴滝書房, p. 23-25, 6月25日）
- ・ 我が家は夢殿、八角形（『ゆうばえ』第11号, 鳴滝書房, p. 68-70, 11月25日）

## 論文

- ・ Le choix des peintures (*kakemono*) d'Emmanuel Tronquois: autour de la collection Tronquois des Beaux-Arts et des Arts décoratifs（『Correspondances コレスポンダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 619-634, 2月）

## 柏木 隆雄

## 単著

- ・ 『バルザック詳説 —「人間喜劇」解説のすすめ—』（水声社, 454p, 1月20日）

## 共編著

- ・ 『フランス文学小事典 増補版』（岩根久・柏木隆雄・金崎春幸・北村卓・永瀬春男・春木仁孝・山上浩嗣・和田章男編, 朝日出版社, 393p, 3月）

## 論文

- ・ バルザック『大佐の女』の沈黙（『Correspondances コレスポンダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 159-171, 2月）
- ・ 開高健の幸福（小玉武『開高健 —生きた、書いた、ぶつかった』解説, ちくま文庫, p. 429-439, 10月）
- ・ 谷崎潤一郎と上方料理（『やそしま』第14号, 上方文化芸能協会, p. 21-48, 12月1日）

## エッセイほか

- ・ 人まかせの旅（『ゆうばえ』第9号, 鳴滝書房, p. 92-94, 1月20日）
- ・ 緻密で周到な秀才（*Gallia*, n° 59, p. 104-105, 3月）
- ・ 心優しい文理融合の友（*Gallia*, n° 59, p. 135-136, 3月）
- ・ 学生時代の店（『ゆうばえ』第10号, 鳴滝書房, p. 36-38, 6月25日）
- ・ 夏が来れば思い出す —助手時代の啓佑さん—（『花だより 人だより』n°24, p. 2-4, 8月31日）

- |       |  |
|-------|--|
| 口頭発表  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・三重同工会の令和2年（『赤壁』第94号，三重同工会，p. 2-3, 9月1日）</li> <li>・語らいの渚にて（佐久間隆氏との往復信，『合掌童子通信』n° 277, p. 10-14, 9月1日）</li> <li>・京の悉皆屋（『ゆうばえ』第11号，鳴滝書房，p. 41-43, 11月25日）</li> <li>・『グランド＝ブルテッシュ綺譚』を読む。（関西バルザック研究会，オンライン，8月29日）</li> <li>・柏木隆雄著『バルザック詳説』をめぐって（中山研究会（通称），オンライン，9月20日）</li> </ul> |
| 金崎 春幸 |  |
| 論文    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『ボヴァリー夫人』におけるオペラ（『Correspondances コレスポンドランス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社，p. 271-283, 2月）</li> <li>・『聖アントワヌの誘惑』（1874）におけるインドの神々（<i>Gallia</i>, n° 59, p. 69-78, 3月）</li> </ul>   |
| 草稿転写  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Vie d'Apollonius de Thyane par Philostrate (BnF, n.a.fr. 14154) (Centre Flaubert [en ligne], Université de Rouen, CÉRÉDI, 12月)</li> </ul>  |
| 川上 紘史 |  |
| 論文    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『パンセ』における Voir（『Correspondances コレスポンドランス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社，p. 75-88, 2月）</li> <li>・パスカル『パンセ』断章 S132 における視覚のメタファー ―判断の対立―（<i>Gallia</i>, n° 59, p. 39-48, 3月）</li> </ul>   |
| 翻訳    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・《翻訳・解題》ピエール・ニコル「プリズム、またはさまざまな態度が他の対象を違った仕方で判断せしめること」（『待兼山論叢』n° 54, 「文学篇」, p. 21-40, 12月）</li> </ul>  |
| 北村 卓  |  |
| 編著    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『実用フランス語技能検定試験 仏検公式ガイドブック セレクション4級・5級』（フランス語教育振興協会，駿河台出版社，210p, 4月）</li> <li>・『仏検公式基本語辞典3級・4級・5級 新訂版』（フランス語教育振興協会，朝日出版社，322p, 9月）</li> </ul>   |
| 共編著   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『フランス文学小事典 増補版』（岩根久・柏木隆雄・金崎春幸・北村卓・永瀬春男・春木仁孝・山上浩嗣・和田章男編，朝日出版社，393p, 3月）</li> <li>・『実用フランス語技能検定試験2020年度版3級・4級・5級 仏検公式ガイドブック』（フランス語教育振興協会，駿河台出版社，4級・5級担当，p. 97-250, 4月）</li> </ul>  |

- エッセイ ・ リトアニアのタカラジェンヌたち—文化外交を担って（関西・大阪 21 世紀協会 上方文化芸能運営委員会『やそしま』第 14 号, p. 49-68, 12 月）
- 黒川 彩子  
論文 ・ ユゴー『マリヨン・ド・ロルム』におけるルイ 13 世（『Correspondances コレスポンダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 187-199, 2 月）
- 小坂 美樹  
論文 ・ ジッドの遺稿『ル・ラミエ』—森鳩は歓びとともに飛びたつ（『ステラ』第 39 号, 九州大学フランス語フランス文学研究会, p. 249-261, 12 月）
- 小山 美沙子  
論文 ・ Guichard の *Le Code des femmes* について—王政復古時代の女性のための文学的な法律知識の普及書（『Correspondances コレスポンダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 605-618, 2 月）  
評論 ・ 「十八世紀フランスの『婦人の百科文庫』の序文を読む」（*Artes Mundi*, vol. 5, 名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター, p. 92-102, 3 月）  
コラム ・ 「シャンソンの夕べにて」（*Artes Mundi*, vol. 5, 名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター, p. 69, 3 月）
- 高岡 尚子  
共著 ・ La nature et l'urbanisation utopique dans le monde romanesque de George Sand (*George Sand et les sciences de la Vie et de la Terre*, sous la direction de Martine Watrelot, Presses universitaires Blaise Pascal, Clermont-Ferrand, p. 275-287)  
論文 ・ ユートピア・ディストピアとジェンダー（『Correspondances コレスポンダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 691-702, 2 月）  
報告等 ・ 「文学部の試み—まほろば叢書『ジェンダーで読む物語』ができるまで、とその後— 附：企画参加学生座談会」（野村鮎子と共同, 『研究教育年報』第 16 号, 奈良女子大学文学部）
- 高橋 愛  
共著 ・ 『フランス文学小事典 増補版』（岩根久・柏木隆雄・金崎春幸・北村卓・永瀬春男・春木仁孝・山上浩嗣・和田章男編, 朝日出版社, 393p, 3 月）

- 論文
- ・ La correspondance entre Cézanne et Zola : l'artiste et l'écrivain (Société Paul Cézanne, <https://www.societe-cezanne.fr/2020/02/17/la-correspondance-entre-cezanne-et-zola-lartiste-et-lecrivain-ai-takahashi/>, 2月)
  - ・ ギラにおけるモニュメントを見る眼 (『Correspondances コレスポンドダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 299-311, 2月)
- 武田 裕紀
- 共著・編集
- ・ 『フランス語で読む哲学 22 選——モンテーニュからデリダまで』 (武田裕紀・三宅岳史・村松正隆編, 朝日出版社, 担当: 「第3部展望」 「デカルト1」 「パスカル」 「ルソー」 「3つの小さな文法練習 (村松正隆と共著)」, 10月)
- 論文
- ・ 懐疑主義に対峙するメルセヌ——『学知の真理』における数学の確実性 (『Correspondances コレスポンドダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 61-74, 2月)
- 翻訳
- ・ ジャンニ・パガニーニ『懐疑主義と信仰——ボダンからヒュームまで——』 (津崎良典・谷川多佳子編, 知泉書館, 「ガッサンディとホップズ——空間と「世界の無化」の仮説」, p. 27-34, 67-98, 12月)
- 事典項目
- ・ 『数学史事典』 (日本数学史学会編, 丸善出版, p. 208-209, 276-278, 426-429, 10月)
- 口頭発表
- ・ イエズ会の数学とデカルト ——*imaginabilis* をめぐって—— (「フランス近世の〈知脈〉」第6回研究会, オンライン, 9月5日)
  - ・ デカルトにおけるマテーシスと想像力 (2) ——*imaginabilis* なのもの射程—— (京都哲学史研究会, オンライン, 10月17日)
- 立川 信子
- 論文
- ・ 「文学との決別」についての考察 —フランスの文学評価の推移— (『愛媛大学法文学部論集』人文学編, 第48号, p. 1-20, 2月)
- 堤崎 暁
- 論文
- ・ ジョルジュ・サンド『ジャンヌ』における「境界」の存在 (*Gallia*, n° 59, p. 59-68, 3月)
- 口頭発表
- ・ ジョルジュ・サンド『フランス巡歴職人』における異身分融和への障害 (日本ジョルジュ・サンド学会秋季研究会, オンライン, 11月8日)
  - ・ ジョルジュ・サンド『フランス巡歴職人』における理想と現実 (日本フランス語フランス文学会関西支部大会, オンライン, 11月28日)

## 寺本 成彦

## 論文

- ・ ジョルジュ・メリエス『月世界旅行』と“科学的驚異”の系譜——〈テキスト／挿絵／映画〉の間——テキスト性と間——メディア性を巡って（『Correspondances コレスポンダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 635-650, 2月）
- ・ “科学的驚異”の物語と植民地主義——J・ヴェルスから G・メリエスに至る月世界旅行の光と影（『ヨーロッパ研究』第14号, 東北大学大学院国際文化研究科ヨーロッパ研究会, p. 53-75, 3月）

## エッセイ

- ・ 思い出のコンサート—モンルージュの“彼女”への道筋—（『別冊 シャンソン・フランセーズ研究』第0号, シャンソン研究会, オンライン出版, p. 28-29, 7月）

## 永瀬 春男

## 共編著

- ・ 『フランス文学小事典 増補版』（岩根久・柏木隆雄・金崎春幸・北村卓・永瀬春男・春木仁孝・山上浩嗣・和田章男編, 朝日出版社, 393p, 3月）

## 事典項目

- ・ 「パスカルの計算機」（『数学史事典』日本数学史学会編, 丸善出版, p. 358-359, 10月）

## 短文

- ・ 「パスカル物理学論文集の新訳について」（*cahier*, n° 25, 日本フランス語フランス文学会, p. 27-29, 3月）

## 口頭発表

- ・ パスカル物理学論文の論理とレトリック（「フランス近世の〈知脈〉」第6回研究会, オンライン, 9月6日）
- ・ パスカルの物理学論文における実験と説得（日本フランス語フランス文学会中国・四国支部大会, オンライン, 12月5日）

## 中村 啓佑

## 論文

- ・ ファンション伝説の形成と拡散（『Correspondances コレスポンダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 591-603, 2月）
- ・ 研究ノート ジョングルールの多面性と変容 —『街角の音楽師受難考』の準備として（『シャンソン・フランセーズ研究』第12号, シャンソン研究会, 12月）

## 濱田 明

## 共著

- ・ 「16世紀プロテスタント詩人にとっての生と死」（『生と死をめぐるディスクール』, 九州大学出版会, p. 219-243, 2月）

## 論文

- ・ ドービニエの『書簡集』（『Correspondances コレスポンダンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 47-59, 2月）
- ・ Hearn, Kumamoto et la France（*Soseki and Hearn Studies* Vol.1, Center for Soseki and Hearn Studies, p. 21-25, 3月）



## 林 千宏

- 共著 ・『実用フランス語技能検定試験 2020 年度版 3 級・4 級・5 級 仏検公式ガイドブック』（フランス語教育振興協会編, p. 181-250, 4 月）
- 論文 ・エビグラムからソネヘーロンサル『恋愛詩集』（1552）を中心に（大阪大学大学院言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト 2019」『表象と文化 XVII』, p. 23-34, 7 月）
- 共訳 ・A・コルバン, J・J・クルティース, G・ヴィガレロ監修『感情の歴史 I 古代から啓蒙の時代まで』（片木智年監訳, 藤原書店, 第 22 章～第 24 章, 4 月）
- エッセイ ・連載「仏検 4 級対策 らくらく初級マスター講座」（『ふらんす』白水社）  
第 11 回「仏検 3 級受験にむけてー動詞の活用・法について」p. 22-24, 1 月  
最終回「仏検 3 級、そしてその次を目指すためにー聞き取り問題について」p. 22-24, 2 月
- 口頭発表 ・「デイクテで不安を解消！」（『ふらんす』白水社, p. 13-18, 4 月）  
・ロンサル『恋愛詩集』（1552）における視覚について（日本フランス語フランス文学会, 秋季大会ワークショップ「フランス・ルネサンス文学における五感の問題」, オンライン, 10 月 25 日）

## 春木 仁孝

- 論文 ・疑似引用マーカーあるいは発話連結辞としての genre（大阪大学大学院言語文化研究科「言語文化共同研究プロジェクト 2019」『表象と文化 XVII』, p. 21-30, 7 月）

## 深川 聡子

- 翻訳 ・じゃんぼ〜る西・カリン西村『フランス語っぽい日々』（白水社, 9 月）
- 講演 ・フランス語によって開ける世界（立教大学全学共通カリキュラム運営センター／フランス語教育研究室主催, 全学共通科目／全学共通カリキュラム言語 B 連続企画「世界を知ろう!」, オンライン, 9 月 28 日）

## 藤田 義孝

- 論文 ・サン＝テグジュペリ作品群における『風と砂と星と』の位置づけ（『Correspondances コレスポンドンス 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社, p. 547-559, 2 月）

## 山上 浩嗣

- 共編著 ・『フランス文学小事典 増補版』（岩根久・柏木隆雄・金崎春幸・北村卓・永瀬春男・春木仁孝・山上浩嗣・和田章男編, 朝日出版社, 393p, 3 月）

- 共著 ・『フランス語で読む哲学 22 選——モンテーニュからデリダまで』（武田裕紀・三宅岳史・村松正隆編，朝日出版社，担当：「デイドロ」，10月）
- 論文 ・パスカルにおける「見かけ」の批判（『Correspondances コレスpondances 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社，p. 89-102, 2月）
- ・モンテーニュにおける「見かけ」の批判——パスカルとの対比において（*Gallia*, n° 59, p. 29-38, 3月）
- 翻訳 ・デイドロ『サロン』抄訳（5）（『大阪大学大学院文学研究科紀要』60巻，p. 41-76, 3月）
- 共訳 ・ジャンニ・パガニーニ『懐疑主義と信仰——ボダンからヒュームまで——』（津崎良典・谷川多佳子編，知泉書館，第二章「モンテーニュと近代懐疑主義」，p. 29-45, 12月）
- 口頭発表 ・La critique de l'apparence chez Pascal et chez Montaigne (Centre d'études interdisciplinaires sur Pascal, Port-Royal et l'époque moderne (CEIPREM, structure fédérative de recherche de la Sorbonne nouvelle — Paris 3), 2月12日)
- ・カミュ『ペスト』を読む（令和2年度大阪府立三国丘高校「三丘セミナー」，オンライン，7月28日）
- ・カミュ『ペスト』を読む（2020年度大阪大学文学部オープンキャンパス模擬授業，オンライン，8月3日録画公開）
- ・モンテーニュとパスカルの政治思想 第1部：正義の不在（「フランス近世の〈知脈〉」第6回研究会，オンライン，9月5日）
- ・現代社会を描くフランス映画3選——格差、ジェンダー、多文化共生（2020 阪大三丘会新入生歓迎会，オンライン，10月16日）
- ・フランス 17 世紀の詩人ラ・フォンテーヌの寓話——動植物が演じる人間喜劇（2020 年度 ラスタ教養大学 言葉文化コース，東り いたみホール，10月26日）
- 山本 健二
- 論文 ・初期ヴェルレーヌにおける大胆な詩法—バルペー・ドールヴィイが批判したソネ「私のよく見る夢」を中心に—（『Correspondances コレスpondances 北村卓教授・岩根久教授・和田章男教授退職記念論文集』朝日出版社，p. 329-341, 2月）
- 和田 章男
- 単著 ・『ブルースト 受容と創造』（大阪大学出版会，393p, 8月）
- 編著 ・Les rues — Cahier 64 (présentation et transcription par Akio Wada, *L'Herne Proust*, Éditions de L'Herne, p. 29-31)

## 共編著

- ・『フランス文学小事典 増補版』（岩根久・柏木隆雄・金崎春幸・北村卓・永瀬春男・春木仁孝・山上浩嗣・和田章男編，朝日出版社，393p, 3月）

## 論文

- ・ブルーストと『春の祭典』（*STELLA*, n° 38, p. 1-21, 1月）
- ・Proust et la critique wagnérienne (*Musiques de Proust*, Hermann, p. 61-76)